

次期「しまね教育ビジョン21」の全体構造の修正案について

1. 修正のポイント

(1) 基本理念と基本目標の整理

- ・基本理念と基本目標の双方で目指す人間像が重複表記されている。

○基本理念は計画で示したい根本的な考えを簡潔に表現し、覚えやすくする。
(スローガン)

(2) 基本目標の整理

- ・目指す人間像を三つに分解しているが、その基準がややわかりにくい。
- ・自立という言葉の意味合いが曖昧。 など

○土台となる「人間力」、積極的にかかわりを広げる「社会力」、主体的に学ぼうとする「学力」に区分し、基本目標とする。(目指す人間像)

○それぞれの基本目標の下に育むべき、身につけてもらいたい具体的な力として具体的目標を設定する。

(3) 施策

- ・施策の名称と構成している具体的な取組に無理がある
- ・信頼される学校づくりは直接目標とつながらない。 など

○施策を無くし、具体的目標と具体的取組を結びつける。
○具体的な取組は、複数の具体的目標と結びつくこともある。
○信頼される学校づくりは、別立てとし基本目標全体にかかるよう整理。

(4) 自立を目指すしまねの子ども教育

- ・ネーミングの問題。
- ・目的の社会的自立・職業的自立が基本目標と不整合。
- ・ふるさと意識の醸成、ふるさとへの貢献の妥当性。 など

○子ども達にかかる基本目標を達成するための『教育的展開』と整理する。
○目標は、基本目標と同じにし、それぞれ柱とする。(三本柱)
○三本柱を支えるものとして『基盤としての健康づくり』、『家庭の役割』、『地域社会との連携』は残す。

2. 全体構造のイメージ ・ ・ ・ ・ 別図参照

3. 基本目標・具体的目標の考え方

★向かっていく学力

(基本目標) ○夢や希望に向かって主体的に学ぼうとする人を育てます。

(具体的目標) ◇学ぶ力・学んだ力、たくましさ、意欲、健康・運動、生活習慣

[趣旨]

★なにかを成し遂げるために学力が必要、それに向かって行くための学力の意

○自らの夢や希望を持って生きていくことが心豊かな人生を送ることにつながる。

○主体的＝一人だけの力、他者との共同がイメージしにくい『自立的』ではなく、自ら進んで行く、他者の存在も想定できる『主体的』を選択

◇単に学んだ力・学ぶ力だけではなく、それを支える『たくましさ』、『意欲』、『健康・運動』、『生活習慣』を含んだものを身につけてもらいたい具体的な力として提示

★広がっていく社会力

(基本目標) ○多様な人と積極的に関わり、社会に役立とうとする人を育てます。

(具体的目標) ◇社会性、コミュニケーション力、国際性、島根への愛着と理解

[趣旨]

★社会との積極的なかかわりと貢献により、自らが社会の中に進出するという能動的なイメージを表現

○多様な人との関わりや多様な価値観に触れる経験を通してこそ、自他を理解し、他人と関わって生活しようとする意識が高まる。

○社会の問題を自分の問題として捉え、解決し、役に立とうとする態度が必要

○「社会」とは「島根」も含み、島根を大切に思い、島根のために何かしたいと思う心を持つことを期待

◇社会との円滑な関わりを持つために、『社会性』、『コミュニケーション力』を提示。今後の国際化社会を想定し、『国際性』を提示。世界中（島根を含む）のどこにいても「ふるさと島根」を愛する心を持つよう『島根への愛着と理解』を提示

★高まっていく人間力

(基本目標) ○自他を等しく大切にし、共に生きようとする人を育てます。

(具体的目標) ◇自尊心、生命の尊重、規範意識、人権意識

[趣旨]

★人間の土台として必要な力を高めていくことを素直に表現

- まず、自らを愛することが肝要
 - 他（他人、異文化、異なる意見）の個性や立場を尊重し、理解する力が必要
 - 東日本大震災を契機に人と人がつながりことの重要性を再認識。大切にすべき事項
 - 一人で生きられない人間が、互いの違いを認めつつ共に生きていく共生社会を意識
- ◇自己肯定感につながる『自尊心』、『生命の尊重』、道徳や倫理、マナーを重視する意味で『規範意識』、全てに渡って土台として必要な『人権意識』を提示

4. 基本理念

「島根を愛し 世界を志す 心豊かな人づくり」

- 「島根」とは、「ふるさと」を象徴して表しました。したがって、この「島根」は、人によって、あるいは使う場面によって、「島根県」であったり、「市町村」であったり、もっと小さな「地元」であったりします。後に出てくる「世界」との対比で漢字二文字で表記しました。
- 「愛し」とは、「大切に思う」、「誇りを感じる」、「いつまでも心にとどめる」、「そのために何かしたい」、などの「心が引かれ、慕わしい」ような好意の感情を象徴して表しました。
- 「世界」とは、地理的な「地球」「様々な国・地域」を指す場合や、地理的な意味ではなく、ある特定の「活動領域」や「職業・専門分野」などを指す場合の両方を含めて表記しました。「広さ」や「高み」を象徴して表しました。
- 「志す」とは、目標を定め、意欲的に、前向きに進んでいこうと決心したり、進んでいく様子を象徴して表しました。
- 「心豊かな人」とは、「他人を思いやる心」や「美しいものに感動する心」「生命を尊重する心」などが十分に備わっている人のことで、人には、まず「豊かな心」が根底に据えられるべきと考えています。
- 「づくり」とは、家庭や学校、地域、行政など、教育に関わるすべて人が連携して、様々な方法を尽くして、人を育てていきたいという決意を表しています。
- 「島根を愛し」と「世界を志す」は対峙したり段階的なものではなく、並列する、ともに大切な要素です。